



2014.5

# 姫路ゾンタクラブ

ZONTA CLUB OF HIMEJI



## バトンタッチ

会長 海老原あかね

6期、7期の会長職が間もなく終えようとしています。新しいゾンタクラブ SEN 姫路ゾンタクラブをスポンサーし、そちらに移った会員もいて顔ぶれが少し変わってのスタートとなりましたが、メンバー皆様のバックアップを受けての2年間でした。

この2年、メンバーの協力を得て数々の活動をして参りました。東北大震災を支援するため、チャリティバザー（お茶席）・チャリティディナーショー・チャリティコンペ・講演会・チャイルド・ケモ・ハウス支援・FOP 支援・DV の支援・途上国女性医師への支援、また地域でのあいめっせフェスティバル・国際交流スプリングフェスティバルにも参加をしました。そして、近大姫路大学ゴールドン Z クラブの設立も叶い、何れも心一つに個々の力を発揮して頂いたおかげです。最初、ゾンタらしいゾン

タとしての奉仕活動を考えたとき、迷宮に入り込んでしまう感じがありました。一番簡単で効率の良いのはパソコン上での「ドネーション・クリック」ではないのかも考えました。しかしメンバーが一丸となり行った活動には、

達成感があり、連帯感が生まれ、また身近な声を聴く事もでき、一味違う喜びがあります。私の中では、国際に向けての寄付と意義のある奉仕、そして地域の方々との交流を交えての活動をバランスよく行っていく事がゾンタクラブの知名度も上げ、会員増強にも繋がっていくものと考えようになりました。次への新しいバトンタッチが上手くいったかどうかはわかりませんが、何の遠慮もためらいもなく、新たなスタートを次々と切っていけるクラブであってほしいと願っています。前期から受け取ったピカピカのバトンを私なりに磨き次期に渡します。どんどん綺麗な姫路ゾンタ色になります様に…。

最後になりましたが、会員の皆様の温かいご協力が心に残る2年間となりました。心からお礼申し上げます。



## 2年間の会計を終えて

本多 孝子

書記として、理事会と例会の議事録、例会案内、例会のプログラム作成などを担当いたしました。議事録の作成では会議内容を忠実に、そして簡潔に記述することに努めました。また、理事会や例会を欠席された方々が読まれても理解して頂けるような記録を心掛けてみました。みなさん、いかがでしたでしょうか？

初めはどうなることかと案じていましたが、会長の助言を受けながら曲がりなりにも務めを終えることができました。お蔭様で、姫路ゾンタクラブを今まで以上に理解することができたと喜んでおります。良い経験をさせて頂きました。感謝しています。

2年間、会員の皆様にご協力いただき、有難うございました。

## 2年間の会計を終えて

駒田かすみ

6期・7期と2年間にわたり、会計を務めさせて頂きました。

着任前に予算原案の立案に初めて携わる前には、毎月の会計報告を聞いて理解していたつもりでも、全体像が見えずに実際の運用等には不安もありましたが、この2年間、予算案を立案し実行し、会計報告を行う中で1年間の会費や収益金の寄付などの流れを理解してくると、姫路ゾンタクラブとして求められているものが何か、ということを考えるようになりました。

この2年間の間には、国際ゾンタへの寄付だけでなく、ゾンタの特別会員でもあり宇宙飛行士の山崎直子さんの講演会に姫路ゾンタクラブとして後援という形で姫路の子ども達が『国際社会での夢を抱く』為のお手伝いや、山田町ゾンタハウスやチャイルド・ケモ・ハウスへのチャリティーという形の奉仕など、様々な経験をさせて頂きました。

奉仕活動の中には、もちろん自分自身がその場で働くという方法もありますが、金銭という形での奉仕はその地域を元気にするという効果も含めて考えた場合、非常に有効な手段であることも痛感しました。そして、その奉仕によって女性の社会的・経済的・政治的な自立を図るという目標に近づいているという実感は、とても励みになりました。

会計を通して見つめ直すことが出来たゾンタの活動を、今後是非意欲的に続けていきたいと思っております。

## 5期・6期理事を経験し

松尾光子

5期・6期と二人の会長の理事会に理事として参加しました。

同じようで同じでない、その期の事業を前に、まずは理事会での協議が始まります。

二人の会長の切り口は違っていても、心に思うゾンタのボランティア精神は同じです。色々な考え方、色々な事業の進め方、期が移り、会長も変われば、様々な展開があるのでしょうか。しかし、二人の会長の理事会を経験して、会長によって色々な考え方があるからこそその経験があり、楽しみがあり、マンネリ化を防止でき、私も含め会員も楽しく充実したボランティア活動が出来るのではなかるうかと思いました。

期をまたぎ、倍楽しめた理事会でした。

有難うございました。

## プログラム委員会

新井幸子

プログラム委員の仕事は、毎月の例会の企画をたてます。

期の始まりは理事の紹介と就任式です。とても緊張したことを思い出します。

毎年恒例の企画で、今年度はインドネシアの留学生に「生活支援金」を贈呈しました。「ゾンタの奉仕について」の勉強会や、近代姫路大学生との交流会、講師をお招きして卓話をして頂きました。また地震や火事の備えの為に防災プラザに行き、館内の見学や体験もしましたが改めて、その怖さを知り備えの大切さを考えさせられました。

新年例会は神社で御祈祷をして頂き、例会後には会員による歌の披露やゲストの官兵衛君とビンゴゲームや体操をして楽しみました。

期の終わりにはお楽しみの移動例会です。昨年「式年遷宮」を終えた伊勢神宮へのお参りです。そして毎月の例会の最後に「今月の歌」を皆で唱和します。

7年間を振り返り思うことは、メンバーそれぞれが自分の特技を生かして力を発揮し貢献した人、裏方で持ち前の気力と体力を発揮し貢献した人、そして行事が終わり会長の「お・つ・か・れ・さ・ま」の言葉で皆の心が一つになれたことです。

メンバーの素敵な笑顔の写真がここにあります！^\_^！

## 奉仕アドボカシー委員会

菅野 千恵子

3月8日(金)第5回園遊会を姫路文学館大講堂と望景亭にて開催致しました。

大講堂では会員持ち寄り品、手作り品の販売そして、アルパ演奏あり少し疲れた方には会員によるデンマーク体操で身体をほぐしたり…その後は望景亭にてお茶を一服と楽しい充実した園遊会でした。収益金は、岩手県山田町ゾンタハウス支援として被災地に授与しました。

12月2日(月)第6回チャリティバザーをイーグレ姫路第1、2会議室(4F)交洋庵(4F)にて会員持ち寄り品、手作り作品販売、お楽しみ会場は森脇さんのカービング、西原さんのボンボンフラワー。

交洋庵にてお茶会を催しました、たくさんの方々に参加して頂き、バザー会場もアツという間に売り切れました。会員の皆様には本当にご苦労様でした、そしてお茶席券、持ち寄り品、手作り作品のお手伝いありがとう!!感謝致して居ります。

3月、12月両日とも良いお天気に恵まれた事も感謝です。

収益金は、岩手県山田町ゾンタハウス、NPOチャイルド・ケモ・ハウスに支援金として授与致します。

又、アドボカシーも皆様で勉強していきましょう。

## 広報・国際委員会

田上 優佳

広報・国際委員会の活動は主に次の内容となりました。ゴールデンZクラブを発足させ、地道な活動ではありますが支援していくことができたことに感謝申し上げます。また、藤川幸之助さんをお招きしH25年12月21日に開催させていただいた講演会の開催は、誰にでも起こりうる認知症をテーマに多数の参加をいただきました。姫路ゾンタクラブはたくさんの方々とのふれあいの中、いろいろな取り組みをおこなっています。今後も地域の方々との交流を中心に幅広い活動ができますことを祈念しております。

1. 会報・広報物(パンフレット・チラシ・ポスター)の  
作成・配布準備・掲示  
：あいめっせ・国際交流・イベントなどへの参加
2. プレス：報道への情報提供
3. ウェブ：ホームページ・Facebookなど
4. 写 真：ゾンシャンら活動時の撮影
5. 奨学金：奨学金授与者応募準備・決定・授与準備など
6. 講演会：講演日程、内容調整
7. ゴールデンZクラブ支援

## 新入会員紹介

川口 照子

*Teruko Kawaguchi*



国際ゾンタクラブという団体が、幅広い活動をしておられるということは耳にしていたのですが、詳しくは知りませんでした。

私は年令を重ね、少しゆっくりしようと思っていたところへ、ご縁のある方からお誘いを受け、入会させていただくことにしました。

今は、ゾンタの「正直」「信頼」という言葉の意味も理解でき、活動内容にも賛同し、楽しく参加しています。

会長や役員の方々のご苦労は大変ですが、その責任感やお人柄に魅かれ、みんな笑顔で惜しみなく協力しています。特に、女性の社会進出を願っている私は、姫路ゾンタの皆さんが、より一層、社会貢献されることを期待しております。

最後に、自然災害が多発している、この日本の現状をよく見つけ、助けあいの心を忘れず“奉仕する姫路ゾンタ”をめざして頑張っていきたいと思います。

お世話になりますが、よろしくお願ひします。

西澤 美佳

*Mika Nishizawa*



ご縁がありこの由緒ある姫路ゾンタクラブに入会し、一年がすぎようとしています。

20代、30代は「家庭」「子供」「仕事」で精一杯の日々を時間に追われバタバタと過ごしておりました。

近頃は、子供も大きくなり「私だけ」を見つめるのではなく、少しずつ「社会」へと視野が広がってきたように思います。そして、ちょうど40才を迎えた頃、東日本大震災。いつもの日常が永遠に続く事はないと感じられた「あの日」私は何をすべきか?と問いただしていた頃、お声をかけていただいたのが、チャリティイベントやバザーを通して義援金を送る「ゾンタ」の活動です。

皆が平和に暮らせるよう、私一人の力はとても小さいけれど、みんなの力が合わさると大きい事が実現できるはず。

会員の皆様と共に力を合わせ、ご指導いただきながら、少しでも社会のお役に立てればと思っています。



## 新入会員紹介

### 人見 裕江

*Hiroe Hitomi*

近大姫路大学ゴールドデン Z クラブの立上げに際しましては、皆様の熱いご支援ご尽力を頂きまして、深く感謝申し上げます。姫路ゾンタクラブやゴールドデン Z クラブの学生たちおよび姫路市地域あんしんサポーターの皆さんにご支援いただき、大的校区を中心に姫路市内の地域活動に参加し、充実した時を過ごさせていただいています。

この会が発足することとなった基盤づくりは、平成 21 年度 姫路市政策助成による「学生と地域とのコラボレーションによる魅力ある大塩のまちづくり～食文化を通じた世代間交流から生まれる力をまちの活性化へ!～」からスタートしました。その結果、以下の点が明らかになってきました。大学のある「大塩町は『秋祭り』は非常に大きな存在であり、歴史や伝統に誇り、次の世代に伝える意識が強い、これは大塩の活性化のための地域アプローチになる。大学内外に広め、地域交流を深め、特に、食その他の文化や生活を理解し、相互に支えあう。看護学生として、健康や災害について学びあう機会を作り、地域と共に大塩の歴史や伝統の大切さ、まちの活性化について語り合い、相互に理解を深める意義が大きい」。さらに、平成 22 年度～24 年度姫路市介護予防支援研究事業助成による姫路市介護予防支援研究事業の助成により、学生および地域の介護予防、生活・介護支援(あんしん)サポーターの活動は、楽寿園等の老人福祉センター、姫路市の 22 地域包括支援センターが企画する介護予防支援事業、どべらの会、茶話会、のじぎく介護家族の会、ふれあい給食(社会福祉協議会の事業)等の地域の自主グループとの協働や、デイサービスにおける介護予防活動(地域包括支援センターが在宅サービス事業所と連携して実施するフットケアの研究的取り組み)、学童保育の支援、在宅での認知症高齢者が役割する“お留守番役”の支援等があります。これらの活動とともに、姫路ゾンタクラブと協働し、その事業への参加はもちろんのこと、学祭で地域との交流イベントを企画したり、施設入居者の傾聴ボランティアや“八百屋的”な拠点での世代交流できる場を創造する学習会に参加したりと地域のニーズに添うボランティア活動を実践していけるよう、試行錯誤しながら、若いアイデアや発想を大切に育みつつ、実践活動を行っています。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

### 前田由紀江

*Yukie Maeda*

姫路ゾンタクラブとのお付き合いは、毎年ディナーショーなどを通してさせて頂いておりました。そして入会のご縁を頂いた訳ですが、ゾンタクラブの特徴である女性の地位向上を目指している点は、大変魅力的でありますし、また個人の力では到底及ばない国際的なボランティア活動にも協力できるという喜びは、人としての永遠の目的だと考えております。

これからも、地域のことから国際に至るまで色々な活動を、会員の皆様とご一緒させて頂きたいと思っております。今後とも宜しくお願い致します。

### 島田 祐弥

*Yumi Shimada*

この度は、ゾンタクラブに入会させて頂き、有難うございます。

奉仕活動に参加できる嬉しさと、私に何が出来るのかという不安がありました。今まで、自分自身で考えて行動する奉仕はなかったのですが、どこかで社会と、繋がりたいと思っていました。ゾンタクラブで実行出来ると、嬉しく思います。また、入会して初めて参加しました、近大姫路大のお茶会での、会員の皆様のきびきびとした働きと、笑顔に感動し、私も楽しく参加することが出来ました。

奉仕活動を考えると、“繋がり”と“継続”が大事だと思います。思いつきではなく、長く見守っていくことではじめて成果が挙げられると思います。ゾンタクラブの目的のひとつ“女性と子供の平和”。子供が笑顔で健やかに成長できる社会こそ未来があると思っています。

私自身は気持ちだけで、まだまだ何も出来ていませんが、会員の皆様の幅広い知識、ご意見や行動をお手本に、楽しく活動出来ればと考えています。そして少しずつでも、おもいが行動に、形に、つながっていければ嬉しいです。今後ともよろしく願いいたします。



## 6期の歩み

### ■第5回エリアミーティング

ルネッサンスリゾート・鳴門

第5回エリアミーティング▶



### ■第61回国際大会 イタリア トリノ

クラブより、2名が国際大会に参加しました。

国際大会

### ■ERY KUS DWIANINSIH さんに生活支援金を贈呈



生活支援金贈呈



チャリティコンペ

### ■チャリティーゴルフコンペ チャイルド・ケモ・ハウス支援

### ■SEN姫路ゾンタクラブ認証状伝達式 SOMクラブ



◀SEN 姫路ゾンタクラブ

### ■特養いやさか苑 訪問

お茶席



お茶席

### ■キャッシル真和 秋祭り

「老いも若きも皆んな来ん祭」

### ■姫路男女共同参画「あいめっせフェスティバル 2012」

◀手寫葵 Dinner show



### ■近大姫路大学ゴールデンZクラブ認証状伝達式 SOMクラブ

チャリティーディナーショー 手寫 葵 姫路日航ホテル



### ■ローズデー 東北支援バザー「園遊会」

お茶席&バザー姫路文学館

ローズデー

### ■国際交流スプリングフェスティバル



お茶席

## 7 期の歩み

### ■山崎直子 宇宙飛行士 講演会

姫路科学館 後援



宇宙飛行士 山崎直子氏

### ■例会 エリア 4 エリアディレクター スピーチ

「ゾンタの奉仕について」 エリアディレクター好永良子様



エリアディレクター好永様

### ■例会 近大姫路大学ゴールデン Z クラブ

交流会

### ■女子留学生に生活支援金授与

ゴールデン Z クラブへ贈呈



地区大会 in 岡山

### ■26 地区「第 12 回地区大会」

岡山コンベンションセンター・岡山全日空ホテルで開催



柳谷郁子氏

### ■例会 卓話「柳谷郁子氏」

### ■キャッシル真和 秋祭り

「老いも若きも来んさい」参加

あいめっせフェスティバル▶



### ■あいめっせフェスティバル 2014

姫路市男女共同参画「あいめっせフェスティバル 2014」



### ■第 4 回「東北支援、チャイルド・ケモ・ハウス支援チャリティバザー」

近代姫路大学ゴールデン Z クラブ参加



チャリティバザー

### ■講演会「藤川幸之助氏」

イーグレひめじ

近代姫路大学ゴールデン Z クラブ参加



藤川幸之助氏講演会

### ■新年例会

護国神社



新年例会

### ■国際交流スプリングフェスティバル



### ■第 5 回「ローズデーチャリティーディナーショー」

「LE VELVETS」



黒田美恵子氏による卓話

### ■例会 卓話 黒田美恵子氏

「黒田官兵衛」

### ■移動例会

「伊勢神宮」



伊勢神宮



防災プラザ

### ■エリアミーティング



## 国際大会にいきました

三輪 光代

2012年7月7日～11日、イタリアのトリノで開催された第61回国際大会に松尾会員と参加しました。2回目の参加だったので当惑することなく登録をすませ、まず1人\$25クラブ全員分と個人の寄付を基金ブースに提出、ボードにシールを貼ることからスタートしました。

計画表にそってデリゲートトレーニング、ビジネスセッション、役員選挙と次々に出席。

日本語の同時通訳つきなのでなんら困ることなくお役目をはたすことができました。

シーフードディナー、オープニングパーティー、ファッションショーも楽しみ、合間にはオプションツアーでストーピニージ宮殿も訪れました。又、ショッピングもしましたし、オープンカフェで他の国のゾンシャン達とワインを楽しんだりしました。

国際会長をはじめ多くの魅力的かつ貫禄充分な女性達のなんと多い事!!どの人達も素晴らしく力に満ちたスピーチをなさいました。力はなくても会員であること、ただそれだけで、想像できない苦しみにある国の

女性達の地位向上に役立っているのだと満足します。多くの収穫を得ることができました。

気持ち良く送り出してくれた夫に感謝して、機会があれば又参加し、爽やかな刺激をもらいたいとおもいます。行こうかどうしようかと迷っている人は是非参加しましょう。間違いなく国際組織の一員としての喜びを味わうことができます。1人でも多くの会員に経験してもらいたいと思っています。



手の色は違っていても思いは一つ  
のテーマを輪にしてみました。

## 近代姫路大学ゴールデンZクラブ 加盟認証伝達式&手寫葵チャリティーディナーショー

海老原あかね

色々な方々のご縁ご支援を頂き、2012年9月25日、世界で655番目、日本では5番目のゴールデンZクラブとして認証され、私達もSOMクラブとして晴れの日を迎える事となりました。「未来のリーダーが今日のより良い世界を作る」をモットーに、近代姫路大学の学長様をはじめ関係者の皆様、大学生の皆さんと話し合い手探りでの出発をして、早2年目を迎えています。学生さんたちは卒業されても奉仕の精神をうまく繋いで下さり頼もしい限りです。私達の奉仕事業に

も学業の合間に手伝いに来て頂き、姫路ZCの平均年齢を一挙に若返らしてもらい喜んでおります。また認証伝達式の日には手寫葵さんのチャリティーディナーショーも開催し、多くの参加者の皆様からご協力を頂きました。重ねて御礼申し上げます。これからも近代姫路大学ゴールデンZクラブの皆さんと共に色々な活動にチャレンジして参ります。末長くご声援下さいませ。



## お誕生日会



1月



1月



6月



6月



2月



7月



8月



3月



9月



4月



5月



10月

### 支援先

- ♥ 国際ゾンタ基金
- ♥ アメリア・イアハート奨学生基金
- ♥ YWPA
- ♥ ジェーン・M・クローズマン奨学金
- ♥ ZISVAW 基金
- ♥ 開発途上国の女性医師に生活支援金贈呈
- ♥ 姫路市水族館サーポーター
- ♥ 東北支援 山田町ゾンタハウス支援
- ♥ チャイルド・ケモ・ハウス支援
- ♥ 国際音楽祭 ル・ポン協賛
- ♥ DV への支援

### 新役員紹介

会長	本多 孝子	書記	三輪 光代
副会長	新井 幸子	理事	田上 優佳
副会長	石川 千歳	理事	西澤 美佳
会計	海老原 あかね		

### 編集後記

姫路クラブも7年を終えました。会報は2年に1度のペースですので度々お届けできませんが、ホームページやFacebook にない細やかさをご覧頂ければ幸いです。これからもゾンシャンとして出会いを大事にして参ります。最後になりましたが、寄稿頂いた会員の皆様、有難うございました。 A.E